

ボランティアスタッフの皆様へ

「ミニ☆いちかわ」とは、・・・
子どもたちが市民になって好きな仕事を選んで働き、地域通貨[メティ]をもらって、自由に使えるあそびのまちです！！
仕事の内容も方法も、子どもの自由な発想と工夫でどんどん変化していきます。

ミ・見守ろう
ニ・にっこりと
い・異年齢で子どもも大人も
ち・違いを認め
か・可能性を信じて
わ・わくわく体験

「ミニ☆いちかわ」のしくみ

小学1年から18才の子ども

市民登録

仕事を探す

お店で働く

事前に公募で集まった子どもスタッフ(小4~中3)がまちのしくみを考え、仕事を準備しています。当日参加の子どもたちは、ミニ☆いちかわの市民となり仕事につき働いてお給料をもらいます。また、当日参加の子どもは起業することもできます。

まちの困ったことは市役所に相談、事件は警察が対処するなど、子どもの手でまちが動いていきます。

遊んだり
食べたり・・・

お給料をもらう

※子どもの募集は往復ハガキによる事前受付(1日につき定員850人)と、当日50人の受付があります。

「ミニ☆いちかわ」の大人スタッフは・・・

ミニ☆いちかわは、子どもが自分たちの力でまちを運営しています。

ここでは、子ども自身が自分で考え、自分で決めることを大事にしています。多少のトラブルも、子どもたちの力で解決します。
どうぞあたたかく見守ってください。

子どもの自主性を大事にし、手出し、口出しはしません
もちろん命令や管理もしません
ただし、子どもたちの安全には最大の配慮をします

みんなが楽しい「ミニ☆いちかわ」、大人の皆さんも一緒に楽しんでください！！

大人スタッフのみなさまへ

- 各ブースにはメインサポーターの大人がいます。当日の動きについてはご相談ください。
- 「ミニ☆いちかわ」は子どものまちです。メティは子どもだけが使います。
- スタッフ証の中に「**たべもの券**」と「**飲み物券**」が入っていますので、大人カフェで引き換えてご利用ください。
また軽食を割引価格にて用意していますのでご利用ください。(大人カフェにて取扱い)
- 困った事があった時は、「大人ボランティア受付」に責任者がいますのでご相談ください。
(子どもの怪我や緊急事態にも対処します。大人スタッフ受付は当日の本部になります)

タイムスケジュール

1日目 9月24日(土)		2日目 9月25日(日)	
6:50	大人スタッフ集合 テント設営・搬入開始	8:00	大人スタッフ&子どもスタッフ集合 ブースの準備
8:00	大人スタッフ&子どもスタッフ集合 ブースの準備	8:30	ブースサポーター打ち合わせ(建物入り口前)
8:30	ブースサポーター打ち合わせ(建物入り口前)	8:45	小6以上子どもスタッフ説明
8:45	小6以上子どもスタッフ説明	9:00	受付開始
9:00	受付開始	9:40	オープニング準備 子どもスタッフ集合
9:40	子どもスタッフ集合、オープニング準備	9:50	オープニング
9:50	オープニング	10:00	ミニ☆いちかわ スタート
10:00	ミニ☆いちかわ スタート		仕事開始 最初の仕事は30分 2回目からは、10分～120分 ミニ☆いちかわ市長選挙
	仕事開始 最初の仕事は30分 2回目からは、10分～120分 ミニ☆いちかわ市長立候補受付	14:00	受付終了・食品工房終了
11:30	副市長とミニ☆いちかわ市長、副市長との対談	14:30	職安、お店終了(銀行、放送ステージ以外) 子どもスタッフ集合 ブースの片付け
14:00	受付終了	14:40	エンディング (仕事は一時停止)
14:30	食品工房終了	14:50	銀行終了
15:00	職安、お店終了(銀行、放送ステージ以外) 子どもスタッフ集合 ブースの片付け	15:00	ミニ☆いちかわ終了 (子どもスタッフと一緒に協力して片付け)
15:10	エンディング (仕事は一時停止)	15:05	ブースサポーター まとめの会(建物入り口前)
15:20	銀行終了		片付け・テント解体開始
15:30	1日目終了	16:15	子どもスタッフ集合 まとめの会后解散
16:15	子どもスタッフ集合 打ち合わせ後解散	17:00	資材返却トラック到着 撤収後解散
16:30	館内へ荷物を運び入れる		

ボランティアスタッフの仕事

※子どもたちの安全が第一です。基本は手出し口出しせずに、子どもたちの安全を見守ってください。

①市民カードに子どもの働いた時間を記入（ブースに市民カードの書き方見本を掲示しています）

ブースに働きに来た子どもは市民カードを持っています。それに働いた時間を記入し、確認のスタンプを押してください。働ける時間は10分～120分まで。時間は10分単位で切り捨てです。ただし一日の最初の仕事は30分以内（ワークシェアリングのため）。

※今年から導入する仕事受付票は、子どもが働きに来たら名前を書いてもらい、帰るときには働いた時間を記入する。

②安全や衛生に注意しましょう（子ども自身が注意できるよう、店長と打ち合わせしてください）

- ・食品を扱う場合は、マスク、三角巾、手袋を使用。
- ・食品を扱う前は、必ず手洗いをし、アルコール消毒を行う。手洗い場に消毒薬を用意します。
- ・まな板等の器具は、アルコール消毒のスプレーをしてから使用。
- ・当日は保健所が衛生点検に回ります。

③大人スタッフの立ち位置

- ・ブースでの市民カードの記入等は、なるべくテントの後方で行ってください。
(大人はあくまでもサポートです。前面に構えると、子どもたちは大人に集中してしまいます)
- ・工房ブースで作成した品物の「置き置き」や「予約」はトラブルになりやすいため、やめましょう。
- ・店の終了時間を守りましょう。列ができていないブースは、まちの終了時間に気をつけて、売る数と並んでいる人数を確認し、「こで終了」等のプラカードを最後尾の人に持ってもらうなど工夫してください。

★わからない事があったら、オレンジ色のTシャツのスタッフに聞いてください。

★安全であればOK！ いろいろな変化や子どもたちとの関わりを楽しんでください。

当日について(今年のしくみ)

店長		事前から準備している子どもスタッフが担います。ブースは、子ども店長がサポーターの大人と相談しながら企画準備しています。
	店長として大切な事	①店長は、働きに来た市民に仕事を説明して、何をするのか教えるのが大事な役割です。 ②どんな仕事があるのか、わかるように準備しておく(紙に大きく書き、貼り出す) ③多くの市民に仕事がいきわたるよう、職安から働く人数を増やすようにたのまれた時は、協力しましょう。 ④店長は他のお店では働きません
	お給料	3500 メティ/1日 朝の打ち合わせ時に支給
	有休	1日につき1時間 (ブースで市民カードに有休と書き、時間を記入してください)
	バックヤード制	店長に限りバックヤードから食べ物を買える(いくつでも、ただし自分の分だけ)
当日店長	雇い方	当日働きに来た子どもをスカウトして店長になってもらえます。 (ブースに店長募集の案内を出してもOK) 市民カードに「当日店長」と記入
	お給料	2時間以上続けて働ける。時給は通常通り。
市民カード	記入方法	<ul style="list-style-type: none"> ・働ける時間は10分～120分 但し1日の最初の仕事は30分以内(ワークシェアリング) ・同じ仕事がしたい子はもう一度職安に行く ・働いた時間は10分単位で記入(端数は切り捨て) ・店長と相談し、市民カードの記入を子どもの仕事にしてもOKです。 ・大人が記入する場合は、なるべくテントの後方で行ってください。 (大人はあくまでもサポートです。前面に構えると、子どもたちは大人に集中してしまいます)
通貨	金種	5メティ・10メティ・50メティ・100メティ・500メティ・1000メティ の6種 ※ブースで使えるものは、今年の通貨のみ。(昨年の通貨を持ってきたら、換金を案内)
	資本金	1000メティ支給。レンタルショップでの材料調達や、宣伝のための経費などに使用します。 (各ブースのセットに入っています)
	換金制度	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年のメティは、銀行で今年のメティに換金できる(半額に換金)。 ・今年のメティは、来年の「ミニ☆いちかわ」で換金して使える。(最高 3000メティ→両替後1500メティ) 行徳会場では使えません。
	借入	資金が足りなくなったら、銀行で借りることができる。(返済が必要)
	売上金	<ul style="list-style-type: none"> ・お店の宣伝などに使えます。自分のものは買えません。 ・お店のお金は、数えてから銀行に預金してください。
	通帳	<ul style="list-style-type: none"> ・お店の売上金を預金します。(ブースセットに入っています) ・銀行から預金をお願いに行く事もあります。
	両替	おつりが無い時は、銀行で両替ができます。
公共ブース・流通		まちが機能するために、様々な公共ブースが仕事をしています。
	困りごと、相談	市役所へ
	落し物・迷子	警察へ
	宣伝をしたい	放送局、テレビ局、新聞社、市役所掲示板を利用できます
	デパート	工房でできた商品はデパートで販売できます。
仕事	市民を雇う	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の最初についた仕事で働けるのは30分まで。2回目からは120分まで働けます。 ・市民が働きにきたら、お店に置いてある仕事受付表に名前を書いてもらい、仕事が終わった時に働いた時間を書いてもらいます。
	準備、片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・ブースの準備や片付けも、当日来た市民と一緒にします。 ・開始の10時前に商品を作ったりしないようにしましょう。一日の最初についた仕事で働けるのは30分まで。2回目からは120分まで働けます。終了時間を守りましょう。
	アルバイト制度	一時的に多くの人が必要なときにアルバイトを雇うことができます。 お店の前で募集できます。 時給は30分で150メティ・市民カードにアルバイトと記入 ・雇える時間は30分まで。(仕事が早く終わっても市民カードの時間は30分で記入)

食品の取り扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・食品取扱許可証とアレルギー表示を貼り出す。 ・食品を取り扱う前の注意事項を貼り出す。(手は良く洗う、まな板などはアルコール消毒する、三角巾、エプロン、手袋、マスクを着用する) ③火を使うものは、食品工房にて調理する。
起業制度		当日参加の市民は、市役所に届出後、ブースを出すことができます。
注意事項	ゴミ	市役所清掃局が対応します。ゴミ袋はレンタルショップにあります。 最終のゴミ集積場所は当日お知らせします。 ・ビン・缶・カセットコンロ用ボンベは持ち帰ります。
	延長ドラムコード	延長コードドラムを使用する際は、必ず全てのコードを引き出してから使用してください。 (コードを巻いたまま使用すると、発熱して火災の危険があります)
	館内の注意	館内は水もの、汚れるものはダメです。(細かい物を取り扱う場合はシートを敷く) 掲示物はパネルを使用(画鋲(がびょう)を使用、壁(かべ)には貼らない)
	屋外の注意	屋外地面の汚れ(マジック・テープなど)にも気をつけてください。(シートを敷いて作業する) 点字ブロックに注意! 衝撃を与えないよう、上に重たいものを置かないよう気をつけて。
テープ類の使用	クラフトテープ(紙ガムテープ)の使用はしないでください。はがれません。(布ガムテープ、養生テープを使用) ただし、ダンボール工作など限定で使用する場合は、管理に気をつける	

☆当日の緊急連絡先☆

緊急の場合など、こちらから連絡します。右のアドレスの登録をお願いします。

E-mail miniichi_kodomo@yahoo.co.jp

携帯 090-6013-4891 (谷口)
090-9979-4585 (しば)



☆保険について☆

社会福祉協会のボランティア保険に加入しています。

☆終了後☆

- スタッフ用のアンケートがあります。(ブースセットに入っている)終了後提出してください。
- まとめの会にご参加ください!!

保護者&スタッフ「ミニ☆いちかわを語る会」

10月16日(日) 13時半~15時半 市川公民館 調理実習室

☆気が付いたことや面白かったことなど、自由にざっくばらんに語る会です☆

こんな時どうするの？

子どもたちが自主的に考えて動くはずの「ミニいちかわ」でも、何をしたいかわからない子どももいるし、指示を待ってずーっと立っている子もいます。待つにも限界があるし…

こんな時にはどうしたらいいの？といった今までの相談の中から対応集をまとめてみました。この事例はあくまでも参考です。いろいろな大人がいるように子どもによって対応も様々。臨機応変に対応してください。そして、子どもたちの意外な行動や思わぬアイデアを楽しんでください！

こんなときには	こんな対応
1. 緊急事態！？	
子ども同士がけんかをしている	けんかも関わり方のひとつ。危険でない限り子どもたちの力を信じて見守ってください。周りにいる子どもが解決することもあります。声をかけるときにはそれぞれの言い分を公平に聞いてくださいね。
危険なことや人に迷惑をかける事をしている	危険な場合は制止し、その後どうして危険かきちんと説明してあげてください。どうしたらいいのか一緒に考えたり、道具の使い方などブースの子どもみんなまで話し合えるといいですね。
子どもが怪我をした	切り傷程度の小さな怪我の場合は、「病院ブース」にキズバンがあります。大きな怪我の場合は、怪我をした子どもへの対応をするとともに、「大人スタッフ受付(本部)」の担当者に知らせてください。
2. とっても気になるう～ でも口出し無用！	
お客の子どもがたくさんならんでいる	子どもは納得して待っています(嫌なら並びません)。大人があわてる事はありません。
子どもの手際が悪い	その子なりのやり方を尊重してあげてください。子ども自身が学んで改善していきます。遅くてもOK、待ってくださいね。
ちゃんとした商品ができない、 子どものやり方では失敗しそう。	大きさの違う商品や見た目の悪い商品があっても気にしないで！売れない事も経験で、どうしたら売れるのか考えるきっかけになります。失敗から学んだことは、子どもたちの大きな力になっていきます。
ズルをしている子がいる	大人社会同様、子どものまちにも悪さをする子が現れます。そんな時は警察の子どもに伝えたり、市役所の子どもの相談してください。目に余る時には、メインサポーターの大人に伝え「大人スタッフ受付(本部)」の担当者へお知らせください。
3. とっても気になるう～ Iメッセージ(私はこう思うけど…) で伝えてみましょう！	
子どもが大人の指示を求める	子ども店長や長く働いている子に「聞いてみてね」と声をかけます。聞ける子どもがいない場合は、即答せずにいっしょに考えてみてください。
どこまでが口出しで、どこまでが アドバイスかわからない	例えば、包丁やはさみの安全な使い方など、基本的な仕事を教えることは必要です。基本がわかると、そこから想像力を働かす事ができます。また「例えばこんなことができるかも…」というように、問いかけのきっかけを提供したりすることで、子どもたちの興味や次の行動を引き出していくことができます。
とにかく何でもかんでも大人に聞いてくる	「私はこう思うけど…」と伝えてみることもひとつの方法です。それを採用するかどうかは子どもが決めていきます。ただし、メッセージの声は控えめに！言い方によっては、「こう言われた」と命令的に受け取られてしまう事もあります。
4. 困ったなあ～ ミニいちかわの趣旨 を伝えてください！	
外野にいる大人にクレームをつけられた	この用紙にある、ミニいちかわの趣旨を伝えてください。困った時には「大人スタッフ受付(本部)」で対応しますので、ご案内してください。